いつも、インシデント報告ありがとうございます 2018.06.01

京大病院医療安全情報103

【画像診断報告書の確認忘れ】

確認忘れは、「失念」タイプのヒューマンエラーです。 失念エラー対策の基本は、「失念をお知らせすること」です。 日本医療機能評価機構からも、下記の医療安全情報が発行されています。

画像を確認した後、画像診断報告書を確認しなかったため、検査目的以外の所見に気付かず、 治療が遅れた事例が報告されています。

画像検査の流れの一例

放射線部 主治医 画像検査をする 画像を作成する 画像を作成する 画像を見る ま者に説明する 画像診断報告書を作成する 画像診断報告書を見る ま者に説明が 必要な場合、患者に説明する 患者に説明する

京大病院でも発生しています

画像診断報告書を 確認しなかった主な背景

画像で検査目的の部位を見て患者に 説明した際、画像診断報告書が作成されておらず、その後見るのを忘れた

画像診断報告書を見る習慣がなかった

CT検査とMRI検査を同時期に行い、 MRI検査の結果で診断が確定できた ため、CT検査の画像診断報告書を 見なかった

専門領域の読影に自信があり、画像診断報告書を見なかった

前年の同月の画像診断報告書を当日 の報告書だと誤認した

◆37件のうち、36件がCT検査の事例です。

日本医療機能評価機構 医療安全情報 2018年5月発行より

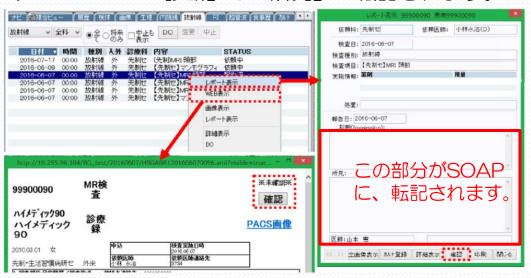
インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報103

【報告書確認未読の場合に通知します】

Step 1. 未読・既読管理 報告書を読んだら「確認」登録を!

カルテのSOAPに「診断」と「所見」が転記されます。



Step2. 未読報告書はオーダー医と診療科に通知され続けます。

①オーダー医への通知

【読影レポート未確認時のアラート院内メール①:オーダ医に対して】 30日前、60日前、90日前、120日前、150日前、180日前の未読レポートがあれば、以下の院内メールがオーダ医に対して送られます。

2018年6月1日以降の読影レポートが対象となります。

※日数は今後変更する可能性があります。

以下の[オーダ種ごとの名称(例:放射線)]レポートが[xxx]日間未読状態です。

ご確認ください。

患者 ID : [xxxxxxxxx] 患者氏名:[OO]

検査名 :[00]

検査日: [yyyy/mm/dd] 報告日: [yyyy/mm/dd] 各診療科別の未読数一覧を 病棟医長・外来医長会議で お知らせします。

くわしくは下記ホームページを御参照ください http://kingsupport.kuhp.net/manual/20180530-1/

②診療科(外来・病棟医長)への通知

月初めに以下の院内メールが診療科に対して送られます。どの診療科のものを誰に 送るかはマスタで設定します。外来がん診療部に関しては、オーダ診療科に振り分け られます。

2018年6月1日以降の読影レポートが対象となります。(6か月以上古いものは対象外となります。)

※期間は今後変更する可能性があります。

[診療科ごとの名称 (例:呼吸器内科)]の[オーダー種ごとの名称 (例:放射線)]レポート未読状況([yyyy/mm/dd])[〇]通目

で確認ください。

ナーガー医師タ 事来 ID

オーダー医師名	忠省ル	思有氏	5 快宜口	報言日	快宜石
[00]	[xxxxxxxx]	[00]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[00]
[00]	[xxxxxxxx]	[00]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[00]
[00]	[xxxxxxxxx]	[00]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[00]
[00]	[xxxxxxxx]	[00]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[00]
[00]	[xxxxxxxxx]	[00]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[00]
[00]	[xxxxxxxx]	[00]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[00]
[00]	[xxxxxxxxx]	[00]	[yyyy/mm/dd]	[yyyy/mm/dd]	[00]

患老丘夕 经本口

※タイトルの『[〇]通目』は量が多く、複数通に分ける必要がある場合、表示します。 また、最後の院内メールは『[〇]通目(最後)』と表示します。
※オーダ医師名でソートします。